

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 449

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269



出発が終わった午後小平中央公園に花見に行ってきました。ちょっと寒かったですがグラウンドのまわりのさくらはきれいでしたよ。

中央公園の花見

あさやけ作業所

今年も「あさやけアートフェスティバル」が開催されます。アートフェスティバルは、二〇一五年に第一回が開催され、今年で三回目です。ときわ会の各施設では絵画や創作活動を行っています。その作品を多くの方々に観ていただきたいという思いから始まりました。

展示される作品は、日々の仕事の合間のクラブ活動や夕方の時間に描かれたものです。特別専門的な指導の元に描かれたものはほとんどありません。このように正規の美術教育を受けずに生み出された作品は「アート・ブリュット」「アウトサイダー・アート」「エイブル・アート」などとよばれています。

表現するということ

あさやけアートフェスティバルについて

あさやけ風の作業所
日下 永

昨今様々な地域や団体でこういった活動が活発に行われているので、みなさんのなかにも一度は耳にしたり、目にしたりしたことがあるのではないのでしょうか。

「あさやけ」の利用者の作品もそのようなジャンル分けすればそのようなものに含まれると言えるでしょう。

なぜこういった作品が、関心や注目をあびているのか。それは「アートフェスティバル」にいらして、作品を観ていただければすぐわかります。

身体的不自由さ、言葉にできないもどかしさ、自分ではどうにもならない感情の起伏、理解してもらえない個性、疾病等々、様々な障害と一言ではくくることのできないものをかかえている利用者たちの想いが、作品にまっすぐに表現されています。力強く、でも繊細で、クスッと笑えたり、じっと観ていると涙が出そうになったり、びっくりしたり、驚いたり、豊富な色使い、シンプルでもたくさんの訴えるものがあつたり、そして何より私達の心をわし掴みにする何かがある。作品にあります。「あさやけアートフェスティバル」には、先に挙げた「アート・ブリュット」などのようなおしゃれなサブタイトルはありません。もっと土臭く、泥臭く、大地に根を張ったようなイメージでしようか。あさやけには、

どちらかと言えば「芸術は爆発だ！」(G4 岡本太郎)のほうがりびりするような気がします。

今年の「あさやけアートフェスティバル」は、六月三十日(金)七月四日(火)。会場は、例年どおり、ルネこだいら展示室とC A Z E C A F E なかまちです。

魅惑のワンダーランドにみなさん是非おいでください。お待ちしております。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



仕事ではがんばっています

鈴木 慎一さん

(あさやけ風の台作業所)



以前はどちらかという新しいことに二の足を踏んでしまふ印象のある人でした。しかし共同ホームつくしんぼに入居をきっかけに、少しずつ積極的になって来たように感じられます。そんな中で二十七年の九月にあさやけ作業所から、実習を経てあさやけ風の台作業所への異動、ダイレクターメールの作業を積極的に取り組んでいます。初めのうちは仕事の仕方やわからないことを聞かずに、自分の判断でやってしまい、間違えて注意を受けることもありましたが、それもずいぶん少なくなりました。やり方をわかっていたらば確実に取り組めるようになってきています。最近では結束機を使つての機械作業にも挑戦するようになっていきました。あさやけ作業所では職員との関係が中心で、少し天狗になる場面も見られたようですが、鷹の台作業所では偉そ



ASAYAKE ART FESTIVAL

あさやけアートフェスティバル2017
2017/6/30(金)~7/4(火)

フシギなチカラが
ココにある



参加団体
あさやけ作業所
あさやけ第二作業所
サングリーン
あさやけ風の作業所
あさやけ風の台作業所
グループホーム一歩
地域生活支援センターあさやけ
おだまき工房
あーとまほえ(NGO法人ともこネット)

主催 あさやけアートフェスティバル2017実行委員会
後援 小平市社会福祉協議会
お問合せ あさやけ風の台作業所 042-346-2167

ルネこだいら展示室
10:00~18:00(最終日15:00まで)

同時開催
なかまちテラス内
CAZECAFEなかまち
11:00~17:00

6/30(金)~7/4(火)

廃品回収のお知らせ

3月の廃品回収の回収量は11,565kgでした。内訳は新聞8,370kg、雑誌・ダンボール3,195kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて181,585円でした。

次回は5月20日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。

二〇一七年度の出発にあたって

支援センターあさやけ

「利用者とともに支援センターを盛り上げていきます！」
今年度は利用者と職員で一緒にあさやけの活動を考えていき、より利用者が活躍できる機会を増やしていきたいと考えています。

例えば…

- ・あさやけアートフェスティバルなどの芸術展の参加や、フリースペースの廊下に利用者の作品を掲示するなど、利用者の特技を多くの人に知ってもらえる機会を作っていく。
- ・スポーツなど利用者が中心になって行えるプログラムを考えていく。
- ・元気村まつりやわいわいバザーなどでの出店内容について利用者と話しあい準備していく。
- ・地域の方々との交流を利用者が楽しめるような企画を考えていく。
- ・心地よく過ごせるフリースペースについて利用者と一緒に考えていく。



新年度最初のイベントはお花見で盛り上がりました！



サングリーン

四月三日、新年度初日に年度替わり式を行いました。例年通り、作業所のしおりに沿って今年度の作業所生活に関わることについて説明を行いました。職員体制では、施設長が新しくなり新体制のもと、蕪木さんが四月十日より復帰することが伝えられた後、今度に加藤さんが三人目の赤ちゃんを授かったため七月より産休に入られることが伝えられました。「せっかく昨年年度復帰したのに」と、と再々年度の別れを惜しむ声もありましたが、おめでとうという一言からみんなの祝福の拍手でいっぱいとなりました。

また、昼食会のところでは、これまで宇宙(そら)班のご好意であつた特盛を今年度は廃止すること、価格が一律三〇〇円だったのを、大盛は五〇円アップの三五〇円にすることを説明しました。健康面のことを考えると致し方ない決断ではありました。一方でみんなの楽しみの一つでもある食事のことなので、サングリーンでお得にお腹いっぱい食べられなくなることに對してもっと反響があるかと覚悟をしていたのですが、そこはみなさん分別のある方々がそ

ろっており、意外とあっさりと承認されました。

今年の一月で、あさやけ第三作業所、福祉工場エバークリーンがひとつになりサングリーンとなつて丸五年を迎えることができました。記念旅行を期待する声もありましたが、多くのメンバーが参加できないとお祝い気分も半減してしまつたので、五周年を祝う会を秋に催し、記念の文集を作ることにしています。

文責 高見澤

